



2023年4月14日

各 位

会 社 名 ビープラットフォーム株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 藤田 健治
(コード番号：4381 東証グロース)
問 合 せ 先 取締役副社長 伊藤 淳一
(TEL. 03-6262-9427)

通期業績予想の修正及び繰延税金資産の計上に関するお知らせ

当社は、2022年5月13日に公表した2023年3月期（2022年4月1日～2023年3月31日）の通期連結業績予想値を修正しましたので、下記の通りお知らせいたします。また、繰延税金資産を計上する見込みとなりましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 業績予想値の修正

2023年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 992	百万円 152	百万円 142	百万円 128	円 銭 53.83
今回発表予想（B）	945	180	176	182	76.55
増減額（B－A）	△46	28	34	54	—
増減率（％）	△4.7	18.6	24.1	42.9	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	808	18	14	10	4.59

2. 修正の理由

コンタクトレス・エコノミーへの対応や新しい働き方など、事業者のデジタル・トランスフォーメーション（DX）への関心が中長期的に更に高まる中で、当連結会計年度においても引き続き新しいデジタル共創を支援するプラットフォームとして受注増加に注力し、新機能オプションの提供やアップグレードなどを推進するとともに、販売パートナー経由の商談の推進とその刈り取りに取り組んでまいりました。

そのような取り組みの結果、当連結会計年度の売上高については、スポット売上の受注が堅調に推移したものの、ストック売上において比較的大口の解約があったこと等により、前回予想を4.7%下

回る見込みです。利益項目については、売上原価及び販売管理費が想定を下回ったこと等により、営業利益は18.6%、経常利益は24.1%、それぞれ前回予想を上回る見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前述の要因に加え、以下3.に記載のとおり、繰延税金資産の計上による法人税等調整額の減少があったこと等により、前回予想を42.9%上回る見込みです。

3. 繰延税金資産の計上

今後の業績見通し等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、今後の一時差異等加減算前課税所得の増加により将来減算一時差異の回収可能性が高まり、2023年3月期決算において、繰延税金資産を追加計上し、法人税等調整額（益）を約21百万円計上する見込みとなりました。

（注）上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上